

老健いばらき

第46号

2015.2.1



花貫溪谷「汐見滝吊り橋」

写真提供/高萩市まちづくり観光課

四季を通じて自然を楽しむことのできる花貫溪谷。特に、溪谷内にある長さ約60メートルの汐見滝吊り橋からの景色が見事です。春は、吊り橋から望むエメラルドグリーンに輝く汐見滝の滝壺や小さな淵をぬって流れる花貫川の清流とその周りに広がる色鮮やかな新緑が爽やかな癒しの空間を作り出します。また、秋には吊り橋にかかる紅や黄色に彩られた華やかな紅葉や晩秋になると絨毯のように広がる落ち葉など、趣深い花貫溪谷の様々な姿を楽しむことができます。

高萩市キャラクター
「はぎまる」

高萩市の花「ハギ」の花の妖精として萩ロードに突如現れた「はぎまる」。特徴的な髪は、萩の花が乱舞した様子で、元気な男の子の姿を現しています。帽子には萩の木、衣装は羽織袴とその姿は、古式ゆかしいてたちとなっています。はぎまるは、イベントが大好きで高萩市のPRをするため県内外の各種イベントに積極的に参加しています。

発行所/一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人/平成園 小柳賢時

編集人/ゴーエン美浦
編集/田尻ヶ丘ヘルシーケア
つくばリハビリテーションセンター
博 純 苑
ごぎょうの里
涼 風 苑

岩瀬 剛
石川達也
市原健一
渡辺キヨ子
宮田澄子
池田八郎



一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会

会 長 小 柳 賢 時

明けましておめでとうございます。皆様には日頃より地域介護に貢献されていること感謝申し上げます。

第6期いばらき高齢者プラン21の基本的な考え方が決まり、各市町村において素案が示され、パブリックコメントを募集している時期だと思えます。地域の状況を知っておられる現場の皆様が意見を出されていくことがプランを成功させる鍵だと考えます。プランの中で医療と介護の一体化が求められておりますが、介護側からは医療との間にまだ敷居が高いという意見があります。老健は介護職の他に医師・看護師・OT・PT・ST・管理栄養士など多職種が集まってチームでサービスを提供している施設です。地域包括ケアプランにおいて、中心的な役割となり力が発揮できるもの信じております。介護報酬はマインナス改定で決着がつきそうです。人件費率が高く施設環境維持など削ることのできない固定経費が収入のほとんどを占める介護施設と、中小企業とを利益率だけで比較できるものでもなく、また、売上至上主義となれるものでもなく、さらに老健は課税対象施設が多く内部留保が少なく、建て替えなど多額な経費が必要な時に対処出来なくなりました。人材不足も深刻で喫緊の課題です。施設の収入が減れば賃金にも影響が出ます。介護職のみの処遇改善対策では、多職種の老健において調整が困難であり、人材不足に拍車がかかります。技能実習制度での受け入れも介護という仕事柄や実習期間の問題など不安定で、EP

Aの制度と同様広がっていかないのでと考えます。人口構造の変化や借金の問題など日本が置かれている現状を踏まえ、社会保障費を誰がどのように負担していくのか、コンセンサスを整理し、増税や保険料をアップするならば、どのようなサービスが提供出来るのか分かり易く、国民が理解し易いように説明し選択できるようにすべきです。地域包括ケアシステム構築に於いて危機的状況ですが、会員の皆様と協力して乗り切っていきたいと考えております。本年もよろしくお願い致します。

一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会

理 事 池 田 八 郎

あけましておめでとうございます

旧年12月に衆議員の総選挙が行われ、既に承知の通り、自民・公明と党の圧勝となったことは記憶に新しいことでした。議員定数の三分の二以上を確保した与党は国民の信任を得たとしてこれからは政権運営はやり易くなり、悪く考えれば与党の思うがままとなるのでしようか。少し懸念するところでもありません。特に介護保険を主軸として経営している介護老人保健施設の今後のあり様についても社会保障充実のための財源であった消費税10%アップの予定はアベノミクスの実現のため「この道しかない」とのもで、平成29年4月に先送りされることになりました。

今年には介護報酬の改定年度であり、年明け早々には発表されるかもしれません。これは年々の介護利用の増大に伴い介護費用の増加により社会保障費の予算不足にあります。社会保障費の負担をできるだけ少なくするため介護報酬単価の下方改定が見込まれております。介護職員の実給金の底上げの一時金支給のために報酬加算の案もありますが、総対的に

は介護報酬の引き下げでは介護老人保健施設全体にたざざる医師、看護師のみならず多くの職種の資格者で構成する事業を行う上で適切な賃金を支払ったの運営は難しくなることと予想されます。介護保険は日本の高齢化社会にはなくてはならない有意義な制度であり維持してゆく必要があります。私見ではありますが、一千兆円を超える財政赤字の少しでも解消し次世代にツケを残さないために、裕福な方々からの保険費用、利用費の負担増はありうると思います。

ところで私事ですが、昨秋11月に旭日双光章の叙勲の荣誉に欲することになりました。これもひとえに多くの方々のご支援の賜と感謝いたしております。

年頭にあたりより精進し微力ではありますが、これからも医療介護業務に専念してまいりますとともに、会員の皆様様の今年のご多幸をお祈り申し上げます。

茨城県保健福祉部長寿福祉課介護保険室

室 長 村 田 隆

あけましておめでとうございます。茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から本県の高齢者福祉行政の推進並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご協力とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」におきまして、介護保険について地域包括ケアシステムの構築及び費用負担の公平化という2つの大きな柱が立てられております。

県といたしましては、このような制度改正を踏まえつつ、平成27年度から29年度までの3年間に目指すべき基本的な政策目標及び取り組むべき施策の方向を定める「第6期いば

らき高齢者プラン21」の策定を進めております。この計画の中では、団塊の世代全てが75歳以上となる平成37年度を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築を施策の大きな柱としたうえで、健康づくり・生きがいづくりの推進、認知症への対応と高齢者の尊厳の保持、利用者本位の介護サービスの充実、安全・安心なまちづくりの推進といった施策の柱を掲げて、各種の施策の展開を図っていく予定です。

地域包括ケアシステムを構築する中で介護老人保健施設が果たすべき役割は非常に大きいものがあります。例えば、在宅復帰支援機能の強化、看護職員やリハビリテーション専門職の地域への還元、訪問リハビリテーション・訪問看護ステーション・訪問介護等を運営することにより施設を退所した利用者が継続してケアを受けられる体制の整備など、地域の中核施設として積極的な取組みが為されることが期待されております。今後とも利用者の立場に立った質の高いサービスをご提供されますようお願い申し上げます。

結びに、今後とも本県の高齢者福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、茨城県介護老人保健施設協会の益々のご発展を祈念いたします。



茨城県介護老人保健施設協会
功労賞受賞にあたって

介護老人保健施設 こすもびあ
事務長 田村 光

老健施設に勤務して20年が過ぎました。当初、私は、老健施設が異次元に存在する世界であるかのような違和感を拭拭することができませんでした。体育館のような広い食堂で多人数での食事、物を洗うかのような機械浴廊下を走り回る職員の姿。入所者は一方的に介護を受けるだけの存在になつてはいまいか。20年前はそれが当たり前の光景でありました。しかし、歳月を重ねるとは実に貴重な事です。20数年に及び介護の積み重ねは介護の質を大きく変容させました。

ケアマネジメントにより個別的に介護目標が設定され、その先にある在宅復帰に向けて日常的に提供させる介護やリハビリテーション。今日の老健施設での光景は、一朝一夕に出現したものではありません。多くの介護職が自らの介護の問題点を発見し、その解決にはどうすべきか。この自己矛盾に正面から向き合い、目の前のお年寄りに必要な介護とはどのようなものなのか。それらを一つ一つ丁寧に積み重ねて行くの遠くなるような行為があつて、ケアマネジメントも在宅復帰も実効的に展開できるものです。

老健施設での私の年月は、このような介護職の人たちの試行錯誤と見事に重なり合います。介護とは何かを深く問い続ける環境を作り出してくれた多くの方々に改めて感謝の念を表します。

今後、老健の諸機能の強化と深刻な人材不足にどう立ち向かっていくのかが厳しく問われています。しかし、老健施設は既に必要不可欠な社会資源として広く認知されています。時代の波は厳しいものがありますが、これま

での実績を基礎として高齢社会が求める介護をさらに深化させる役割が老健施設に求められていることを改めて自覚するものです。文末になりましたが、この度は名誉ある表彰に浴し、茨城県老健協会の皆さま、並びに一緒に仕事をしてきた方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

永年勤続者表彰
受賞にあたって

介護老人保健施設 つくばケアセンター
支援相談員 野村 智美

この度は、永年勤続者として表彰頂きまして大変光栄に存じます。平成10年4月に入職した当初は、介護士として配属されたものの介護について何も分からずまったくの素人でした。研修を終了し現場に出ても技術的には未熟で「痛い!」「早くしてよ」と言われて落ち込んだり、忙しくなれない業務の中ですぐに辞めたいと思うようになりました。そんな中、先輩に「相手も同じ人間、楽しく仕事をしているか嫌々しているかすべに感じよう。どんな人に対しても相手の気持ちになつて対応することが大事だ」と教えていただきました。それから、自分がされて気持ちいいと思う介護、いやだと思ったことは利用者も同じ気持ちでいる」ということを常に念頭において声かけをし、相手の表情をみながら介護を行うように努めると、「痛い」から「ありがとう」とへと変化し、「コミュニケーションもスムーズにとれるようになりました。その後、入所、通所と介護業務につき、現在は支援相談員、介護支援専門員として在宅復帰、ターミナル、施設への入所等、様々な支援をさせていただいています。支援相談員の業務は一人で出来ることではなく、全職員として家族も含めた連携が重要となつてきます。

功労者表彰者一覧表

施設名	職名	氏名	勤続年数
エバークリーン	介護主任	吉崎 泰子	19年
さくら	居宅介護(支援専門員)	竹俣 宣子	18年
こすもびあ	事務長	田村 光	20年
マカベシルパートピア	理学療法士	渡邊三枝子	14年
取手市介護老人保健施設緑寿荘	事務	菊地 幸子	22年
さざんか荘	介護職員	軽部佐知子	19年
シニア健康センター しおさい	主任相談員	佐藤 秀幸	16年
ゆうゆう	看護師	鮎川 由美	15年10ヶ月
シルバビレッジ	看護職員	山崎 明子	10年5ヶ月
ルーエしもつま	看護・介護部長	澤辺しげ子	17年



今ではその介護士時代のコミュニケーション力が役に立っており、利用者及び家族、他職種を十分理解した上で支援を行うよう務めています。いまでも利用者や家族から「あの頃楽しかったな」「また(レクリエーション)やってよ」など声をかけていただくことも多くあり、介護職での経験も私の中の大きな財産となっています。これも上司や先輩、仲間の支えがあったからこそその16年間で、私をサポートしてくださつたすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも支援相談員として、いろいろな方にご指導をいただきながら、みなさんの笑顔を引き出せるような存在としてお役に立てればと思っております。本当にありがとうございました。

永年勤続者表彰者一覧表

施設名	職名	氏名	勤続年数
エバークリーン	看護師	村田 久子	10年7ヶ月
エバークリーン	介護士	雨谷 明美	10年1ヶ月
リビトハウス北浦	介護支援専門員	中館 恒夫	11年
リビトハウス北浦	看護師	橋本 禎子	11年
リビトハウス北浦	調理師	額賀 章代	11年
さくら	介護職員	櫻井 祐輝	10年
さくら	介護職員	和田 政充	10年
しろかね	事務	中村りつ子	11年8ヶ月
大宮フロイデハイム	介護職員	富山さと子	11年
大宮フロイデハイム	介護職員	河井 英明	11年
ナシングホームかたり	事務	佐藤 貴子	10年
つくばケアセンター	介護支援専門員	野村 智美	16年
つくばケアセンター	介護支援専門員	嶋 静馬	12年
つくばケアセンター	介護支援専門員	野田澤芳子	10年
つくばケアセンター	介護福祉士	歌野 知子	12年

施設名	職名	氏名	勤続年数
セントラル(ふれあい)	看護師	伊藤八重子	10年6ヶ月
セントラル(ふれあい)	介護福祉士	藤原 由紀	10年2ヶ月
セントラル(ゆうあい)	介護福祉士	鈴木加代子	10年
こすもびあ	准看護師(介護支援専門員)	井坂 由枝	11年
こすもびあ	相談員(介護支援専門員)	柴野今日子	15年
博 純 苑	介護職員(介護福祉士)	佐藤 英人	12年
博 純 苑	介護職員(介護福祉士)	世原 敦雄	12年5ヶ月
博 純 苑	看護職員(准看護師)	平田 弘子	10年7ヶ月
博 純 苑	支援相談員	内田 寛彦	14年7ヶ月
マカベシルパートピア	支援相談員	直井 好代	15年
マカベシルパートピア	看護師	武沢 粧子	12年
マカベシルパートピア	介護職員	吉井 久恵	10年
コミュニティケアセンター-松山	介護職員	酒井 久央	12年
取手市介護老人保健施設緑寿荘	介護支援専門員	尾崎 和子	14
くじらヶ丘	介護	高畠 佳子	10年
さざんか荘	介護職員	橋山 弘子	14年

施設名	職名	氏名	勤続年数
さざんか荘	調理員	田中 勝己	13年
シニア健康センター-しおさい	看護師	佐藤 幸代	11年
スーベリア360	准看護師	横瀬久美子	10年
スーベリア360	管理栄養士	長嶋 裕美	10年
スーベリア360	支援相談員	兼松 正	10年
シルバークアソピア	介護福祉士	谷球 浩之	10年1ヶ月
ゆうゆう	介護福祉士	後田 晃延	10年5ヶ月
ゆうゆう	介護福祉士	武田はるみ	10年2ヶ月
ゆうゆう	介護福祉士	雨谷 綾子	10年
ゆうゆう	介護福祉士	黒木 勝紀	10年
ゆうゆう	介護福祉士	吉田 智仁	10年
ゆうゆう	介護福祉士	吉田 浩之	10年
ルーエしもつま	看護師長	園内田美代子	14年
協和ヘルシーセンター	介護福祉士	藤田 拓美	11年
協和ヘルシーセンター	介護支援専門員	増刈 功一	11年

事務専門委員会 研修会報告

委員長 つくばリハビリテーションセンター 大島 茂則

平成26年11月13日に茨城県立県民文化センターにて、「施設に必要な接遇力」をテーマに研修を行いました。講師には泉 泰子先生をお招きし、介護施設に求められる接遇、苦情・クレーム対応など充実した研修会を行う事ができました。

接遇については当たり前のことであり、介護施設に必要な接遇とは何か、介護職に対する高い期待などいろいろ教わりました。苦情・クレームをそのままにしておくに訴えに発展する恐れがあり、初期対応が大切さを実感しました。

後半では演習で意見箱の投書に対する対応ということで事例についてどのように対応するかを行いました。言葉についても自分達では丁寧に行っているつもりでももっと適切な言葉があったり、相手に伝わらなかつたりと考えさせられることが多かったです。

まずなにより利用者様や家族と信頼関

係を築くことが大切ですが、もしものときにに対して施設としてどう対処すべきか

を事前に考えておく必要があると思いました。



H26年11月13日 第2回事務専門委員会アンケート集計結果

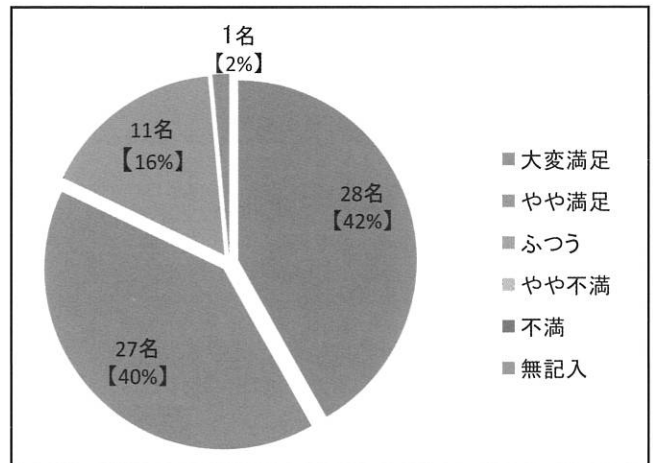
参加者構成

出席者68名中、アンケート回収数67名

管理・監督者:2人 従業員:64人 無記入:1人

研修評価

今回の研修会はいかがでしたか？	人数	割合
大変満足	28	42%
やや満足	27	40%
ふつう	11	16%
やや不満	0	0%
非常に不満	0	0%
無記入	1	2%
合計	67	100%



- ・施設に持ち帰り、施設内研修にて伝えたい内容ばかりだった。自分たちの普段の対応を見直すきっかけになると思った。
- ・納得しました。実際、自分が使っている言葉にもクレームにつながるかもしれないと思った。
- ・とても分かりやすかった。経験が浅いので、不安なことが多く、業務にあたっていたが、とても勉強になった。
- ・今まで、プライダルなど接客サービスを行ってきた。介護のサービスを見て間違っているのでは、と感じたこともあったが、本日のお話を聞いてとても勉強になった。
- ・日常にしていることがクレーム対応（苦情）になっていることもあったのだが、言葉遣い、言い方にも気を付けなければと感じた。

栄養専門委員会 研修会報告

委員長 ゆうゆう 足立 深紗子

平成 26 年 11 月 18 日に「高齢者の体調管理」をテーマとして、第 2 回栄養専門委員会研修会を開催しました。ネスレ日本株式会社、大塚製薬株式会社に講演を依頼して、便秘や脱水の対応策等について学び、38 施設 44 名のご参加を頂いて無事に終えることができました。

便秘・脱水ともに、なぜ起こるのかといった原因や体の仕組みを知ることでアプローチの仕方が変わってくるため、個々に合わせたアセスメントの重要性を感じることができたことと思います。私自身も、看護師や介護士等の多職種と情報を共有しながらアプローチしていくことの大切さを、改めて実感することができました。

午後のグループワークは、地区別に分かれて実施しました。昨年度から近隣施設の栄養士との情報交換の場として地区別での勉強会を開催していることから、どのグループも円滑にすすめることができました。高齢者の体調管理のみならず、日常業務での悩みについての討論や、他施設のイベントの取り組みについて知る

ことができ、とても有意義な時間となりました。

栄養士は少数配置の施設が多いのが現状です。多職種連携をすすめていく中で、栄養士ならではの悩みを抱えてはいませんか？当委員会では、日常の様々な問題を共有・討論し、解決への道筋を少しで

も作れるような場を提供していきたいと考えています。また、今後も栄養士が専門職としての知識を高めることができる研修会を開催していきたいと思っておりますので、ぜひ研修会にご参加頂きますよう、ご協力をお願い申し上げます。



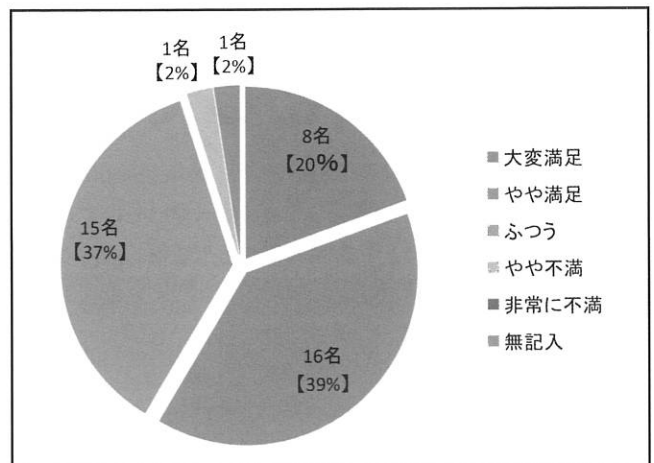
H26年11月18日 第2回栄養専門委員会アンケート集計結果 参加者構成

出席者44名中、アンケート回収数41名

管理・監督者:5名 従業員:34名 その他:1名 無記入:1名

研修評価

今回の研修会はいかがでしたか？	人数	割合
大変満足	8	20%
やや満足	16	39%
ふつう	15	37%
やや不満	1	2%
非常に不満	0	0%
無記入	1	2%
合計	41	100%



- ・気になっていた点が色々と分かった。
- ・他施設の現状を知れた。悩みを聞いていただけで解決したこともあった。
- ・普段気付くことが出来なかった視点から入ったので参考になった。
- ・水分補強など老人施設で大事ななので、とても為になった。

支援相談員になって

私は平成21年に介護職として入社し、平成26年2月から支援相談員になりました。介護の仕事は初めてだったこともあり、多くの失敗を重ねましたが、先輩方の指導のおかげで今日まで勤めることが出来ました。介護職員だった頃の私は、どうすれば利用者様が、快適な生活を送れるか、を中心に考えて仕事をしてきました。

しかし、相談員になって、仕事の内容は大きく変わり、病院関係者、介護事業者、そして御家族、と関係する人が増え、業務は多岐にわたるようになりました。なかでも私が一番重要に考えているのは、窓口に来所される御家族です。加齢によって状態が変化してしまっていく親や配偶者の心配、不安を持った御家族が、最初に相談に訪れるのが相談員だからです。大切な家族への思いを受け止め、少しでも不安を解消して、利用者様と



介護老人保健施設 スーペリア 360

支援相談員 高橋 大輔

御家族が安心して生活を送れるように専心するのが相談員の仕事と考えています。

また、一昨年2月から、当施設でも看取りを行なうようになりました。御家族はもちろん、職員も自分達が関わった利用者様の最期を見送ることとなり、動揺もあったとは思いますが、頑張ってその職責を全うできています。私も、相談員として各職種と連絡調整し、利用者様が安心して生活を送られた後、穏やかな最期を迎えられるように相談に応じていきたいと努めています。

相談員として、利用者様と御家族の声を汲み上げ、反映できるように心がけています。しかし、力不足から希望に添えないこともあります。そうした失敗を糧にして、不安を持って相談に来所された利用者様と御家族に満足した生活を送れるお手伝いが出来たら、と考えています。



支援相談員としての思い

当施設は下妻市にあり入所定員100名、通所定員65名の老健施設です。私は支援相談員をしています。早いもので入社してから8年目を迎えます。私が業務をする上で最も大事にしていることがあります。それは、ご利用者やご家族とお会いする初回の面接です。介護が必要になったということに不安や焦りを抱えながらの相談になります。私のできる限り相手の気持ちに寄り添いながら聞き取りをしています。又、介護保険のサービス内容、老健施設がどのような機能を持っているのかを理解して頂けるように分かりやすく説明していきます。様々な思いを持って来設されていますので一筋縄では行きませぬ。多様性が求められています。初回面接を経て、サービス利用中においても面接や生活場面で良好な援助関係が築いていくように適切な態度や姿勢で対応し、誰からも話しかけやすく、そして私からも声掛けしやすい雰囲気作りを心掛けています。



介護老人保健施設 ルーエしもつま

支援相談員 永藤 憲英

介護保険制度ができて利用者やその家族は、保険料と利用料金を支払っています。介護サービスは安心・安全であることはもちろんの事、接遇の要素も期待されています。施設においても接遇の向上を目的とし利用者満足度が高められるように朝礼後、各職種共に唱和を実施しています。『挨拶は自分から、笑顔で、元気良く』『声掛けは、明るく、丁寧、親切に』この取り組みにより、以前よりもご利用者やご家族から「ルーエに入所できて良かった。」「職員さんが良くやってくれてありがたい。」と感情込めた言葉を頂くことが直接耳にすることが増えたと感じています。

この地域においても介護サービスがひしめき合っています。そのような状況下の中でもルーエしもつまが一番に選ばれる施設になるよう一丸となって継続し取り組んでいきたいと思えます。

ようこそ 介護老人保健施設 プロスペクトガーデンひたちなかへ

当施設は、入所定数100床デイケア100名で、病院等を併設していない単独型の老健施設です。病院を併設していないという事は不便な面もありますが、介護を医療とは独立したpost medical careにとらえ、医療も提供できる介護施設という世界でも類をみない『老健』という施設形態の特性を大いに発揮することができています。森田施設長による施設内での医療的な健康管理と、スタッフは病気を未然に防ぐための行き届いたケアを提供することに力を入れており、それが施設全体の介護の質を高めることにつながっています。

私どもは平成24年度の介護報酬改定以来、施設一丸となって老健の本来の使命である在宅復帰に力を入れてまいりました。『どんな重度な方でもお家に帰って自宅で過ごせる架け橋になろう』ご家族に対しては『苦勞



HALを使ったリハビリ

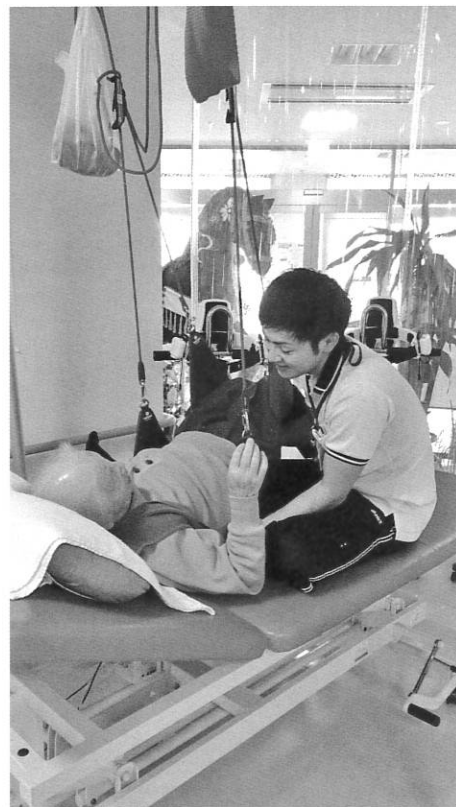
をしない親孝行のお手伝いをしよう』を合言葉に取り組んだ結果、今年度の在宅復帰率は60%を超えました。

当施設の特徴は、バランスの良い全人的なリハビリを提供することです。ロボットスーツHAL@福祉用を3台導入し『身体のリハビリ』を行い、認知症の予防・改善を目的に学習療法で『頭のリハビリ』を行い、芸術療法士を常勤で採用し、利用者の心



アートセラピストと作品

から湧き出るような芸術作品を創作することで『心のリハビリ』を行っています。その作品は利用者のみならず、職員の心も豊かにし訪れた方がたから賞賛の声を頂いております。また当施設は食のリハビリにも力を入れています。那珂湊漁港から新鮮な魚介類をメニューに取り入れ厨房職員も味の介護士として



リハビリ風景

調理から食べるまでに責任を持たせています。お近くへお越しの際は、ぜひ当施設を見にいらしてください。



スタッフ

(医) 森田記念会
介護老人保健施設 プロスペクトガーデンひたちなか

〒312-0002
ひたちなか市高野字柏野2455-1
TEL: 029-354-3210
FAX: 029-354-3213

さくら日立 (日立市)



●「浮世絵第1弾」・・・波

折り紙を使った貼り絵を行っていたが、ゲスト(ご利用者様)から、もう少し手の込んだものを作りたいと要望があり、花紙を丸めたもので作成しました。

レイクヒルひぬま (茨城町)



●手芸クラブ

通所リハビリの利用者の皆様が、文化祭に向けてショートケーキを作りました。

形になっていくにつれて、この苺は甘いのかな、生クリーム美味しそうなど、会話をしながら和気あいあいと楽しく作成しました。

みんな

コミュニティセンター 樺山 (鉾田市)



●「壁画」筑波山

「当施設では、日常的に余暇活動として、利用者様と職員が共に作品作成に取り組んでいます。完成した作品を見て思う事は、作品には必ず利用者様の嗜好や生活史、思いが表現されており、いつも感心させられます。例年10月に、年に1度、活動の成果を発表する文化祭を開催しています。写真は今年展示された作品の様子です。今年もまた、大作の他、手作品等々、どの作品も、優しく心温まる、素敵な作品ばかりが出揃い、期間中は、利用者皆様が鑑賞され多くの芸術作品に触れて頂く、楽しい機会となりました。

境町メディカルピクニック (境町)



●編み物

靴下のハギレを使用した編み物で、今回は座布団作りを行いました。作り始めはなかなか大変でしたが、慣れてくると一人で何個も作成できるまでになっていました。手芸が好きな利用者様などは時間を忘れて一生懸命作られていました。

のた場



－ 編集後記 －



高萩市は海と山の豊かな自然に恵まれたまちで、約7kmにわたって続く海岸では、白砂の「高萩海水浴場」や切り立った海食崖に挟まれた二つの入り江を持つ「高戸小浜海岸」など美しい景観が続きます。また、山間部では新緑や紅葉などが楽しめるスポットが点在し、表紙の花貫溪谷「汐見滝吊り橋」周辺では特に美しい風景が楽しめます。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局

水戸市千波町 1918 (月・金 9:00～13:00)

TEL .029-291-5376 FAX .029-291-6057

平成園

古河市旭町 1-17-39 (左記以外時間帯対応)

TEL .0280-31-5998 FAX .0280-31-7767